



中学校区一貫教育校園 玉野市立玉小学校 学校だより第14号（令和6年6月4日）

「いじめについて考える週間（6/4～6/7）」に寄せて

見方を変えれば…「ひび割れ壺」のお話より

インドのある水くみ人足（水をくんで、運ぶ仕事をしている人）は2つの壺（つぼ）を持っていました。

天秤棒（てんびんぼう）のはしにそれぞれの壺をさげ、首の後ろで天秤棒を左右にかけて、彼は水を運びます。その壺の一つにはひびが入っています。もう一つの完璧（かんぺき）な壺が、小川からご主人様の家まで一滴の水もこぼさないのに、ひび割れ壺は人足が水をいっぱい入れてくれても、ご主人様の家に着く頃には半分になっているのです。



完璧な壺は、いつも自分を誇りに思っていました。なぜなら、彼がつくられたその本来の目的をいつも達成できたから。

ひび割れ壺はいつも自分を恥じていました。なぜなら、彼がつくられたその本来の目的を彼は半分しか達成することができなかったから。

2年が過ぎ、すっかり惨（みじ）めになっていたひび割れ壺は、ある日、川のほとりで水くみ人足に話しかけました。

「私は自分が恥ずかしい。そして、あなたにすまないと思っている。」

「なぜそんなふうに思うの？」

水くみ人足がたずねました。

「何を恥じているの？」

「この2年間、私はこのひびのせいで、あなたのご主人の家まで水を半分しか運べなかった。水がもれてしまうから、あなたがどんなに努力をしても、その努力に報われることはない。私はそれがつらいんだ。」

壺は言いました。

水くみ人足は、ひび割れ壺を気の毒に思い、そして言いました。

「これからご主人様の家に帰る途中、道端（みちばた）に咲いているきれいな花を見てごらん。」

天秤棒にぶら下げられて丘を登っていくとき、ひび割れ壺はおひさまに照らされて美しく咲き誇る道端の花に気がつきました。

花は本当に美しく、壺はちょっと元気になった気がしましたが、ご主人様の家に着くころには、また水を半分もらしてしまった自分を恥じて、水くみ人足に謝りました。

すると彼は言ったのです。

「道端の花に気づいたかい？花は君の側にしか咲いていないのに気づいたかい？僕は君から落ちる水に気づいて、君が通る側に花の種をまいたんだ。そして、君は毎日、僕が小川から帰る途中、水をまいてくれた。この2年間、僕はご主人様の食卓に花を欠かしたことがない。君があるがままの君じゃなかったら、この美しい花で家を飾ることはできなかったんだよ。」

みなさんにききます！

【インドの民話「ひび割れ壺」のお話は何が言いたいのだろうか？】

自分なりに考えてみると…

○見方を変える

ひび割れ壺は自分のひび割れを「だめなところ」と考え、「はずかしい」「すまない」「がんばっても報われない」「つらい」と「自分はだめなんだ」というネガティブな考えでした。しかし、実は、ひび割れからもれた水のおかげで花が咲いていた…**見方を変えれば、ひび割れは「だめなところ」ではなく「よいところ」でもある**ということです。

ひとつ思い出すことは

今も昔も、どの学校でも、中学3年生は高校入試が近くなった頃から、学活等で“**面接練習**”を行います。その練習の中で、「なぜ〇〇高校を志願したのか」「中学校生活で一番心に残ったことは何か」など、多くの質問事項が並ぶ“面接ノート”に自分の考えを書いていきます。

私が中学3年生の担任をしていた頃、クラスの生徒達が一つ一つの質問についての考えを“面接ノート”にがんばって書いていましたが、「**あなたの長所・短所は何か**」という質問に「**短所（だめだと思うところ）は書けるけれど、長所（良いと思うところ）は何も書けない…**」という生徒が何人もいました。「**自分の長所が分からん。先生～！！私の長所は何？**」ときいてくる生徒もいました。どうしても「よいところよりもだめだと思うところ」に気持ちが向いてしまいますね。

世の中には“ネガポジ変換”という言葉があります。「**ネガティブな言葉をポジティブな言葉に変換する**」ということです。

職員室前の掲示板にも右のような掲示物が貼られています。こちら「**リフレーミング…自分の見方を変えて、とらえなおす**」ことでネガポジ変換と同じです。

ネガポジ変換には、例えば以下のようなものがあります。



○無愛想→クール ○自己主張が強い→自分の意見をもっている ○しつこい→粘り強い
○落ち着きがない→活動的 ○口が上手い→説得力がある ○断れない→相手を尊重する
○不器用→地道に頑張るタイプ ○人に気を遣いすぎる→心配りが細やか など

自分が思う長所・短所全てひっくり返して、自分の“個性”です。また自分に個性があるように友だちにも個性があります。大切なことは、自分の個性・友だちの個性について、ネガティブに考えるのではなく、ポジティブに考え、よりよく生活するためにはどうしたらよいのかを考えることです。

○水くみ人足のような人になる

もしかしたら“完ぺきな壺”のように、長所ばかりで短所がない人もいるかもしれません。しかし私を含め、ほとんどの人が長所はもちろん、見方によっては短所ももっています。得意なこともあれば苦手なこともあります。

水くみ人足は、ひび割れ壺から落ちる水に気づき、通る側に花の種をまきました。水を毎回、半分しか運べず、気落ちするひび割れ壺に「**自分にはこんなよいところがあるんだ**」と**気づかせてくれました**。

玉小には、どの学級でも「自分のよいところ、友だちのよいところをみつけよう」という活動をしています。みなさん一人一人が誰かに「**あなたには、こんなよいところがあるよ**」と**ポジティブなメッセージを伝えられる人**でいてほしいです。

6月4日から7日まで岡山県は「いじめについて考える週間」です。この期間中に、各学年で「いじめ」についての授業があると思います。いじめをしない・させないのはもちろん、あなた自身が否定的なものの見方・感じ方ではなく、肯定的なものの見方・感じ方ができる人でいてください。そして、肯定的なメッセージを周りの人に伝えられる人でいてください。